

第7 航泊禁止区域内航行許可申請

1. 様式

当該航泊禁止区域内で航行する船舶等に係る内容を記載例により作成して下さい。

2. 申請が必要となる区域

敦賀海上保安部管内（福井県）で申請が必要となる区域は、敦賀港、福井港、小浜港、和田港及び内浦港の5港において、港長公示により航泊禁止、航行制限等の措置がとられた区域（航泊禁止区域）です。

同措置がとられた区域、期間等詳細については、最寄りの海上保安部（署）にお問い合わせ下さい。

3. 提出部数

申請書は、所定の様式（A4縦版）により1部提出して下さい。

4. 提出時期

工事・作業許可申請と同様に、原則として実施日の1ヶ月前に提出して下さい。

5. 提出先等

(1) 提出先

港名	申請書の宛名	提出先
敦賀港（特定港）	敦賀港長	敦賀海上保安部
福井港（特定港）	福井港長	福井海上保安署
小浜港	敦賀海上保安部長	小浜海上保安署
和田港	敦賀海上保安部長	小浜海上保安署
内浦港	敦賀海上保安部長	小浜海上保安署

(2) 事務取扱窓口

敦賀海上保安部 交通課 〒914-0079 福井県敦賀市港町7の15 敦賀港湾合同庁舎 TEL 0770-22-4179 (FAX 同)
福井海上保安署 〒913-0032 福井県坂井市三国町山岸第50号2番地2 TEL 0776-82-4999 (FAX 0776-82-5321)

小浜海上保安署

〒914-0032 福井県小浜市川崎1丁目3の1

TEL 0770-52-0494 (FAX 同)

6. 申請書作成時の留意事項

船舶交通の安全に及ぼす影響等が最小となるよう次の事項等に留意して計画して下さい。

- イ 海水浴場等の遊泳者が存在するような場所にあつては、接触事故等、人に危害を与えることの無いよう、事前周知の徹底、厳重な見張りの励行を遵守すること。
- ロ 秩序ある行動がとれる体制があること。
- ハ 船舶の定員超過等その他法令に違反する恐れがないこと。
- ニ 船舶に誤解を与えるような信号旗の掲揚等を行なわないこと。
- ホ 利害関係者の意見を調整しておくこと。

7. 申請書の記入要領

(1) 申請義務者

申請者は、航泊禁止区域内で船舶を航行させようとする者、つまり実施責任者として全般を指揮監督する者です。

(2) 目的

行事の種類、目的等を具体的に記載して下さい。

記載例

(例) ○○を目的とした海上訓練、水上花火大会、遠泳訓練等

(3) 港長公示番号・日付

航泊禁止区域に関する公示は、八管区水路通報への掲載及び漁協マリーナ等の海事関係団体に通知していますので、掲示されている公示内容を確認していただくか、港長事務所（最寄りの海上保安部署）にお問い合わせ下さい。

記載例

(例) 敦賀海上保安部長公示 第○号
(平成○年○月○日付)

(4) 航行しようとする場所

- イ 海図に表示してある灯台、又は著名な物標から方位・距離及び緯度・経度を記入して下さい。
- ロ 基点として灯台を用いる場合は、灯台表（海上保安庁発行）に記載されている名称を用いて下さい。
- ハ 海図の写し等を用いた位置図、区域図などの状況資料を添付して下さい。

記載例

(例) ○○灯台から○○度○○m海上を中心とする半径○○mの円内
海域 (別添「実施位置図」及び「航行経路図」のとおり)

(5) 航行日時

航泊禁止区域内で実際に船舶を航行する日時を記載し、予備日の設定があればその旨も明記して下さい。

記載例

(例) 平成○年○月○日○時○分～○月○日○時○分
(予備日○月○日～○月○日)

(6) 船名・用途

航泊禁止区域内で航行する船舶の船名及び用途を明記して下さい。

記載例

(例) 船名 ○○丸 用途 小型兼用船

(7) 総トン数・馬力

航泊禁止区域内で航行する船舶の総トン数及び船舶の長さを明記して下さい。

記載例

(例) 総トン数 ○.○トン 馬力 ○○PS

(8) 船舶所有者

航泊禁止区域内で航行する船舶の船舶所有者名を明記して下さい。

記載例

(例) ○○○○株式会社 又は 個人名

(9) 船長名・乗組員数

航泊禁止区域内で航行する船舶の船長名及び乗組員数を明記して下さい。

記載例

(例) 船長名 ○○○○ 乗組員数 ○名

(10) 連絡手段

航泊禁止区域内で航行する船舶に乗船する者及び現場責任者等の連絡手段として携行する携帯電話の番号等を明記して下さい。

記載例

(例) 現場責任者○○○○ 090-○○○○-○○○○
船長○○○○ 090-○○○○-○○○○

(11) 作業内容・方法

- イ 実施内容を具体的に記載して下さい。
- ロ 計画書又実施要領等を作成した場合はこれを添付して下さい。
- ハ 船舶の航行経路を明記した図面を添付して下さい。
- ニ 水上花火大会にあつては、危険範囲（保安距離）を明記した図面を添付して下さい。

(12) 事故防止措置等

行事の種類、規模等に応じ、次の点に留意して記載して下さい。

- ・ 船舶交通に対する事故防止対策及び警戒措置等
- ・ 行事参加者の危険予防措置及び連絡体制
- ・ 事故発生時の対策及び連絡体制
- ・ 海域利用者への周知状況
- ・ 中止基準（風速、波高、視程等）
- ・ 行事の中止、変更等に対する措置

記載例

- ・ 地元漁業協同組合等海域利用者には行事内容を説明し、調整済みです。
- ・ 乗船者には救命胴衣を着用させます。
- ・ 警戒船において周囲の状況を把握し、他の船舶が接近する場合は拡声器や汽笛で注意喚起します。
- ・ 当日午前○時の気象情報により実施の可否を決定します。
中止基準 風速○m/秒以上、波高○m以上、視界○Km 以下の場合
港長から指示があった場合

事故発生等の緊急時における関係先連絡系統を記載して下さい。

なお、各保安部署に対する連絡については、次により記載をお願いします。

	通常時	緊急時
敦賀海上保安部	0770-22-4179	0770-22-4999 又は 118 番
小浜海上保安署	0770-52-0494	0770-52-0494 又は 118 番
福井海上保安署	0776-82-4999	0776-82-4999 又は 118 番

(13) 連絡先

行事の実施責任者と、参加者等の氏名、連絡先電話番号等を明記し、夜間連絡先も記載して下さい。

8. 申請書の添付書類

- ① 実施位置図
 - ② 航行経路図
 - ③ 船隊構成
 - ④ 参加人員、参加船艇（船名、要目等）一覧表
 - ⑤ 航行船舶の船舶検査証書の写し
 - ⑥ 航行船舶操船者の海技免状の写し
 - ⑤ 周知用パンフレット
 - ⑥ 他機関の許可書の写し（遊泳者保護区域船舶航行許可証等）
- } (複数の船艇を航行させる場合)

9. 申請書等の書式及び記載例

航泊禁止区域内航行許可申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇港長 殿

申請者住所 〇〇市〇〇 〇丁目〇番〇号
氏 名 〇〇県立 〇〇高等学校
学校長 〇〇〇〇

目 的	平成〇〇年度 〇〇高等学校 遠泳訓練	
港長公示番号・日付	〇〇港長（部長）公示 第 〇 号 （平成〇〇年 〇 月〇〇日付）	
航行しようとする場所 （図面添付）	〇〇海水浴場沖 航泊禁止区域内 〇〇灯台から〇〇度〇〇m海上を中心とする半径〇〇mの円内 海域 （別添「実施位置図」及び「航行経路図」のとおり）	
航 行 日 時	平成〇年〇月〇日〇時〇分 ～ 〇月〇日〇時〇分 （予備日 〇年〇月〇日～〇月〇日）	
船 名 ・ 用 途	船名 別紙記載のとおり※1	用途 別紙記載のとおり※1
総 ト ン 数 ・ 馬 力	別紙記載のとおり※1 トン	別紙記載のとおり※1 PS
船 舶 所 有 者	別紙記載のとおり※1	
船長名・乗組員数	氏名 別紙記載のとおり※1	別紙記載のとおり※1 名
連 絡 手 段	別紙記載のとおり ※1	
作 業 内 容 ・ 方 法	別紙記載のとおり ※2	
事 故 防 止 措 置 等	別紙記載のとおり ※3	

船名・用途等 ※1

使用目的	船名	用途	総トン数 馬力	所有者	乗組員	専従警戒 要員	船舶検査 済票の番 号	船舶検査証 書の有効期 限	船長の 氏名	海技免状 の種類・ 有効期限	連絡手段
指揮船 (動力船)	〇〇丸	小型遊漁 兼用船	〇.〇トン 〇PS	〇〇〇〇	〇名	〇名	000-00000	H00.00.00	〇〇〇〇	H100.00.00.	無線機 携帯電話
警戒船 (動力船)	△△丸	小型兼用 船	〇.〇トン 〇PS	〇〇〇〇	〇名	〇名	000-00000	H00.00.00	〇〇〇〇	H100.00.00.	無線機 携帯電話
警戒船 (手漕ぎ ボート)	〇〇				〇名	〇名					無線機 携帯電話

作業内容・方法 ※2

- ① 〇〇県立〇〇高等学校の学生〇〇名が遠泳を行い、監視・警戒のため教職員〇名が乗船する動力船〇隻及び手漕ぎボート〇隻を伴って遠泳訓練を実施します。
- ② 指揮船は、訓練全体が把握できる海域に配置します。
- ③ 警戒船は、動力船〇隻・手漕ぎボート〇隻で、遠泳を行っている学生の隊列の先頭及び最後尾に配置し伴走します。

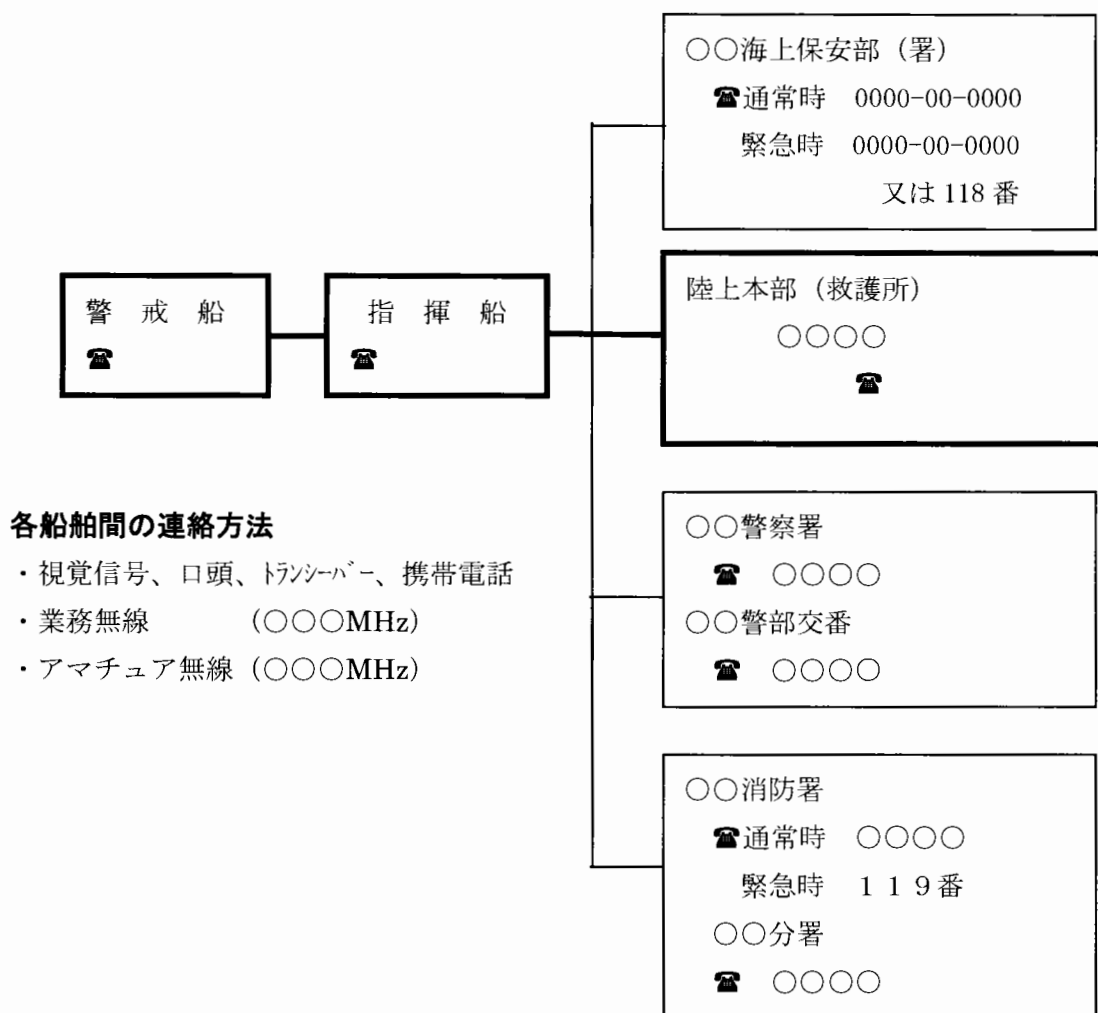
事故防止措置等 ※3

(1) 安全対策

- ① 地元漁業協同組合等海域利用者には訓練内容を説明し、調整済みです。
また、訓練当日においても、海域利用者に対して、海水浴場に設置の場内スピーカー等を活用し事前周知します。
- ② 指揮船（動力船）に現場責任者〇〇〇〇を配置し、事故防止等の指揮監督に当たります。
- ③ 警戒船（動力船・手漕ぎボート）を海域周辺（遠泳の隊列の前後）に配備し、接近船舶及び付近遊泳者に対して赤旗、拡声器等により注意喚起するとともに、同船に救命浮環等の救命用具を装備し、体調不良者及び負傷者等の救助に当たります。
- ④ 指揮船、警戒船及び陸上本部は、無線機（トランシーバー）により常時連絡体制を確保します。

- ⑤ 気象・海象に注意し、気象警報（風、波等）が発令された場合及び次の基準に達した場合、又は同基準が予想される場合には行事を中止します
 風速〇〇m/秒以上、波高〇m以上、視程〇Km以下、海水温度〇〇℃未満
- ⑥ 指揮船及び警戒船に乗船の全員に救命胴衣を着用させます。
- ⑦ 事故発生等、緊急時は直ちに応急処置を講ずるとともに、下記「緊急時の連絡系統」により、〇〇海上保安部（署）等へ速やかに報告します。
- ⑧ 中止、終了時は速やかに〇〇海上保安部（署）へ電話で報告します。
- ⑨ 隣接海域で遠泳訓練を実施する〇〇高等学校と協議し、航行海域が重複しないように調整済みです。

（2）緊急時の連絡系統



（3）連絡先

陸上本部（責任者名、電話番号）

指揮船等（船名、責任者名、電話番号）

(4) 添付資料

位置図、航行経路図、実施計画書及び実施要領、タイムスケジュール表、遊泳者保護区域船舶航行許可証、船舶検査証書及び海技免状の一覧表等